

### 【短報】エゾヘリハネムシの追加採集と若干の知見

エゾヘリハネムシ *Ischalia* (*Ischalia*) *arakii* M. Saitô, 2003 (ヘリハネムシ科 Ischaliidae; 以下, エゾ) は 1♀ によって北海道網走市藻琴山から記載され, キスジヘリハネムシ *Ischalia* (*Ischalia*) *luteolineata* Pic, 1912 (以下, キスジ) に近縁であることが示唆された. その後の M. Saitô & D. K. Young (2015) でも, キスジと同じ種群として扱われているが, その後の追加記録はなく, 重要な♂の情報も得られないままであった.

近年, 平野はヘリハネムシの1種を北海道新得町トムラウシ温泉にて多数採集し, それらの一部を斎藤が譲り受けた. 斎藤はこの標本をエゾのホロタイプと比較して詳細に検討したところ, エゾであると判断した. 以下, エゾの追加採集として報告しておく.

3 exs., 北海道新得町トムラウシ温泉霞の滝, 28. VI. 2014, 平野採集・保管; 10 exs., 同, 22. IX. 2014, 平野採集・保管; 1♂4♀, 同, 28. VI. 2015, 平野採集・斎藤保管; 1 ex., 北海道新得町トムラウシ温泉野営キャンプ場, 24. VI. 2015, 平野採集・保管.

霞の滝ではエゾが太い朽木(樹種不明)から多数が得られたが, この採集例は, 近縁とされるキスジが朽木の菌類で集団で生育するという観察例(奥田,

1992)と符合し, 興味深い生態的知見である. 野営キャンプ場ではスィーピングで得られ, エゾのホロタイプも笹のスィーピングで得られた可能性が高い. 2015年に採集されたものにはテネラルな個体も含まれており, 6月に羽化していると思われる.

今回記録した斎藤保存の標本群は, エゾのホロタイプと比較して上翅の淡黄褐色の縁取りが不明瞭であるが, 前胸背の形態や背面の点刻の状態に差異はなかった. 1♂(図1)は, ♀のホロタイプや他の4♀の触角と比較して, 各節が細長い; 各節の長さの比率(n=1)は0.77:0.42:1.00:0.85:0.85:0.85:0.77:0.77:0.73:1.23, また各節の幅に対する長さの比(n=1)は, 1.11:0.85:2.00:1.69:1.83:1.69:1.69:1.69:1.46:2.46であった. なお, トムラウシ温泉産キスジ♀の触角各節の幅に対する長さの比(n=1)は, 1.26:0.93:1.93:1.50:1.50:1.47:1.50:1.35:1.47:1.20:2.00であった. また, ♂交尾器側片はキスジのそれと極似するが, キスジでは先端の湾入が深く, 湾入の角度が鋭角となるのに対して, エゾでは先端の湾入(図2)が浅く, 湾入の角度は鈍角となる事で区別できる.

末文ではあるが, 今回の報告に関して, エゾのホロタイプ借用の便宜を図って頂いた国立科学博物館動物研究部の野村周平博士に深謝する.

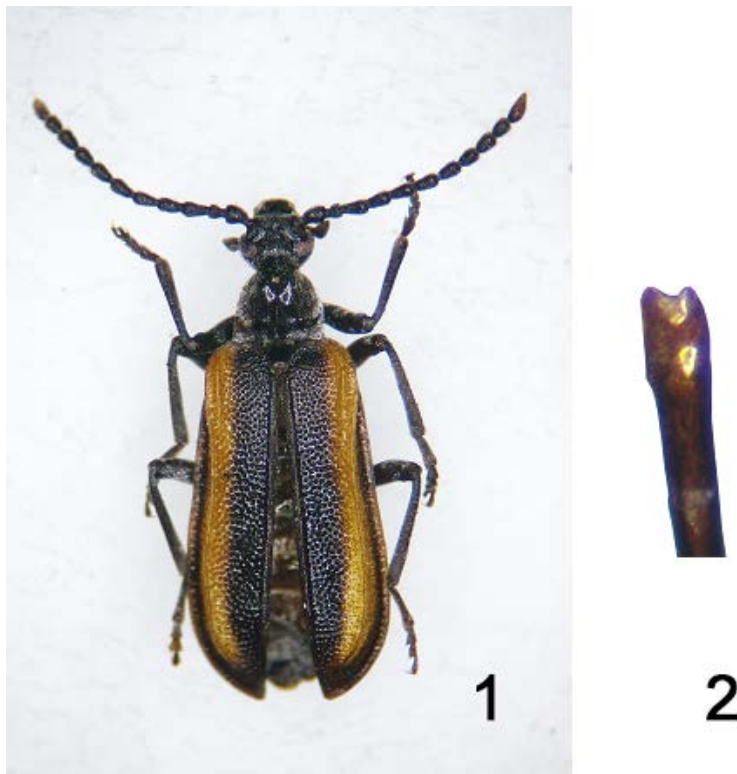


図1-2. トムラウシ温泉産エゾヘリハネムシ♂ (1) と♂交尾器側片先端 (2) .

### 引用文献

- 奥田則雄, 1992. ヘリハネムシの生態について. 月刊むし, (252): 36.  
 Saitô, M., 2003. A new species of the genus *Ischalia* (Coleoptera, Anthicidae, Ischaliinae) from Hokkaido, Japan. *Elytra*, 31: 55-60.  
 Saitô, M. and D. K. Young, 2015. A new *Ischalia* (Coleoptera, Ischaliidae) from Hokkaido, with a key to the Japanese Ischaliidae. *Elytra*, new series, 5: 177-181.

(斎藤昌弘 913-0016  
 坂井市三国町三国東  
 4丁目3-23-115)  
 (平野幸彦 250-0865  
 小田原市連正寺 585-29)